

諏訪・岡谷地方の経済概況速報

平成20年9月

(平成20年8月末調査)

平成20年9月16日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266 (23) 4567

FAX 0266 (23) 8044

		実 数	前年同期比
有効求人倍率【7月】	諏訪公共職業安定所管内 ※1	1.22 倍	△0.23 ポイント
手形交換高【8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	8,193 枚	△3,433 枚
	金 額	9,621 百万円	△5,698 百万円
	うち	枚 数	4 枚
	不渡り発生状況	金 額	600 千円
自動車販売【8月】 (諏訪地方合計)	車庫証明取扱件数 (普通車)	807 件	△16.0 %
	軽自動車販売台数	238 台	△14.7 %
新設住宅着工件数【20年4月～7月】(諏訪管内)		590 戸	△7.6 %

※1：平成20年4月分より諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となりました。

地域の概況

●製造業

自動車部品の下請企業の受注状況は、小型車やハイブリット車向けで堅調とするところがあるものの、総体ではメーカーの生産調整により足元の受注は減少している。また、国内外での販売の減少を受け、今後の受注動向も厳しい見方が多い。

デジタルカメラ関連企業の受注状況は、親会社により増減が区々となっており一部に弱含み感もきかれる。工作機械・専用機は、国内・海外向けともに弱含んでおり低水準での推移となっている。液晶搬送用機械関連は引き続き堅調な生産となっている。金型関連は、企業により区々であるが新規受注が減少しており今後の量産の減少を危惧する声もきかれる。

中堅企業の中には原材料価格の上昇分の受注単価への転嫁が進んでいるとの声もあるが、多くの下請企業では原材料や燃料価格等の上昇により収益性は悪化しており、受注状況も含め地域製造業の業況は引き続き減速感がみられる。

●商業

諏訪地方の8月の天候は、月の前半は太平洋高気圧により晴れて暑い日が多かったものの、中旬以降は寒気の南下により気温は一転して平年より低くなった。

食料品価格やガソリン価格は依然として高値圏であり、食料品はチラシによる選別購入や購入点数の減少がきかれ、衣料品は気温の下がった中旬以降は長袖ものなどの秋物衣料に動きが出始めたものの総体の動きは鈍い。

諏訪地方の8月の自動車販売は、普通自動車の車庫証明件数が807台で前年同月比△154台（△16.0%）の減少、軽自動車の販売台数は238台で前年同月比△41台（△14.7%）の減少とガソリン価格の高止まりや消費マインドの低迷により低調な推移となっている。

●観光業

諏訪湖畔で行われた第60回諏訪湖祭湖上花火大会は過去最多の4万3千発が打ち上げられ、見物客は初めて50万人（主催者発表）を突破するなど大きな賑わいをみせた。また、サマーナイトファイヤーフェスティバルや新作花火大会も夏の観光イベントとして定着している。

8月を通しては、天候に恵まれた昨年と比べ、中旬以降の気温の低下や週末の悪天候から高原の観光地への入り込み客の減少や団体客の集客低下に伴う宿泊客の減少がきかれる。

上諏訪温泉は、花火大会やお盆期間中は満館のホテル旅館が多かったものの、月を通しての宿泊客数では個人客は比較的堅調だったものの団体客の減少により、総体では前年同月比10%程度減少した模様である。

蓼科・白樺湖・車山方面の宿泊客数は、ホテル旅館により増減区々であるが週末の悪天候等から前年比で幾分減少した模様である。

また、飲食店では北京五輪期間中は客足が落ちたとするところが多い。

●建設業

市町村の8月の発注工事は、建築工事5件47百万円、土木工事・下水道工事59件547百万円、その他工事16件84百万円の合計80件679百万円で、前年同月比では6件、37百万円の増加となった。

県関係の8月の公共工事（地元業者受注分）は18件375百万円で、平成20年4月～平成20年8月の累計契約は66件1,820百万円で前年同期累計比では△30件、△2,233百万円（昨年比△55.1%減）と平成18年7月豪雨災害の復旧工事のあった昨年と比べ大幅な減少となっている。

民間工事は、諏訪地方の7月の新設住宅着工件数は160戸で前年同月比では25戸（18.5%）の増加となった。利用関係別では、「貸家」が44戸と前年同月の17戸から27戸増加した。昨年の6月に改正建築基準法が施行され7月の着工が減少しており、昨年比の着工件数は増加しているものの基調としては低調な推移となっている。

●雇用

諏訪地域の7月の有効求人倍率は、1.22倍と全国（0.89倍）及び長野県（1.04倍）を上回っている。また、諏訪地域の7月の新規求人（全数）は1,485人で前年同月比△158人（△9.6%）の減少、新規求職者数は756人で前年同月比100人（15.2%）の増加となっている。

諏訪地域の有効求人倍率は、平成15年10月以降1倍を上回っているものの、昨年10月より前年同月比を下回っている。

※平成20年4月分より諏訪公共職業安定所の公表数値は、諏訪公共職業安定所岡谷出張所（旧岡谷公共職業安定所）を含めた数値となっております。

業種別動向

1. 電気機械

プリント基板	受注状況は企業により区々であるが、デジタル家電向け基板の海外シフトや新機種生産の鈍化の影響から弱含みの状況がきかれる。
コンデンサー	受注の弱含みやコストダウン要請がきかれる。
プリンター	大型プリンター、サーマルプリンターの受注は横這いの状況である。
コンダクター・リレー	受注状況は安定している。

2. 輸送用機械

自動車	小型車やハイブリット車向けで堅調とするところがあるものの、メーカーの生産調整より足元の生産は減少している。また、今後の受注動向もメーカーの減産の影響から厳しい見方が多い。
ピストンリング・シリンダーライナー	下請企業の受注は、企業により繁閑が区々となっている。
船外機	メーカーの在庫調整の動きから、受注は減少傾向となっている。

3. 一般機械

工作機械・専用機	国内・海外向けともに弱含んでおり、液晶関連向けで堅調とするところもみられるが総体では低水準での推移となっている。
搬送用機械	ハイテク関連で受注残高は増加している。
金型	企業により区々であるが、新規受注が減少しており今後の量産の減少を危惧する声がきかれる。
アルミダイキャスト	企業により区々であり、自動車関連では軽自動車向けが好調とするところがみられる。

4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルカメラの7月の生産台数は848万台で、前月比△12.4%減少、前年同月比17.8%増加となっている。7月の出荷台数は国内出荷81万台、海外出荷736万台で、出荷台数全体では前月比△16.9%減少、前年同月比12.2%増加となっている。(カメラ映像機器工業会：2008年1月分から統計参加企業が増加したことにより、「対比」の定義が厳密ではないため、前月比、前年同月比の数値はあくまで「参考値」とする。) 下請企業の受注は、親会社により増減が区々となっており一部に弱含み感もきかれる。
---------	--

プロジェクター メーカーの販売状況は新興国を中心に好調であるが、海外生産が中心となっており地域企業の受注は減少傾向となっている。

レンズ 国内の加工業者数が減少しており、足元の受注や見積り依頼が増加している企業がみられる。

5. 織 維

ニット 8月後半の低温により昨年に比べ初秋物の動きは早まったものの、小売店の販売状況から秋冬物の生産は例年より幾分弱含み傾向である。

6. 食 品

寒天 出荷は、小売業向けは増加傾向であるが、業務用向けは幾分弱含んでいる。

味噌 出荷は例年並みであるが、大豆等の原材料価格の高値が続いており収益状況は良化していない。

7. 製 材

諏訪地方の7月の木造住宅着工件数は124戸で前年同月比15戸増加した。改正建築基準法の影響があった昨年に比べ、売上げは増加したとすところも多いが例年並みの水準に戻った程度である。

8. 建 設

公共工事 8月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、発注機関別に諏訪建設事務所11件、林道治山工事関係2件、その他5件の合計18件、契約金額375百万円となっている。平成20年4月～平成20年8月の累計契約は66件1,820百万円で前年同期累計比では△30件、△2,233百万円（昨年比△55.1%減）と平成18年7月豪雨災害の復旧工事のあった昨年に比べ大幅な減少となっている。

市町村の8月の発注工事は、建築工事5件47百万円、土木工事・下水道工事59件547百万円、その他工事16件84百万円の合計80件679百万円で、前年同月比では6件、37百万円の増加となった。

民間工事 諏訪地方の7月の新設住宅着工件数は160戸で前年同月比では25戸（18.5%）の増加となった。利用関係別では、「貸家」が44戸と前年同月の17戸から27戸増加した。

昨年の6月に改正建築基準法が施行され7月の着工が減少しており、昨年比の着工件数は増加しているものの基調としては低調な推移となっている。

9. 商 業

諏訪地方の8月の天候は、月の前半は太平洋高気圧により晴れて暑い日が多かったものの、中旬以降は寒気の南下により気温は一転して平年より低くなった。

食料品価格やガソリン価格は依然として高値圏であり、食料品はチラシによる選別購入や購入点数の減少がきかれ、自動車販売は普通車・軽自動車ともに前年同月比で約15%程度売れ行きが落ちている。

衣料	気温の下がった中旬以降は、長袖ものなどの秋物衣料に動きが出始めたものの総体の動きは鈍い。
食料品	月の前半は飲料水やそうめん類などの盛夏物の売れ行きが順調であったが、商品価格の上昇からチラシによる選別購入や購入点数の減少がきかれる。
家電製品	北京五輪後も薄型TVの動きは堅調であり、エアコンの売れ行きも落ちている。
自動車	諏訪・岡谷を合わせた8月の車庫証明件数（軽自動車除く）は807台で前年同月比△154台（△16.0%）の減少となった。また、諏訪地方の軽自動車の販売台数は238台で前年同月比△41台（△14.7%）の減少となった。日本国内の新車販売は37年ぶりに20万台を割っており、当地方でも売れ行きの低下がみられる。
ホームセンター	身近なレジャー志向から、バーベキュー用品や花火などの売れ行きが良かったとの声がきかれる。

10. 観 光

諏訪湖畔で行われた第60回諏訪湖祭湖上花火大会は過去最多の4万3千発が打ち上げられ、見物客は初めて50万人（主催者発表）を突破し大きな賑わいをみせた。また、サマーナイトファイヤーフェスティバルや新作花火大会も夏の観光イベントとして定着している。

ただし、天候に恵まれた昨年に比べ、中旬以降の気温の低下や週末の悪天候から高原の観光地への入り込み客の減少や団体客の集客低下に伴う宿泊客の減少もきかれる。

また、飲食店では北京五輪期間中は客足が落ちたとするところが多い。

上諏訪温泉	花火大会やお盆期間中は満館のホテル旅館が多かったものの、月を通しての宿泊客数では個人客は比較的堅調だったものの団体客の減少により、総体では前年同月比10%程度減少した模様である。
蓼科・白樺湖・車山	宿泊客数はホテル旅館により増減区々であるが、週末の悪天候から入り込み客が前年比で幾分減少した模様である。
下諏訪温泉	ホテル旅館により区々であるが、宿泊客数は前年並みのところが多い。
諏訪大社	上社・下社合わせた参拝客数は64千人で、前年同月比△16千人の減少となった。団体の参拝客数の低下がみられる。